

○ 高等植物分布資料 (2) Material for the distribution of vascular plants in Japan (2)

○ キバナノショウキラン *Yuania amagiensis* Nak. et Maek. 静岡県安倍郡井川村は地図で見ると長野県と山梨県の間に静岡県が楔のように突き出たところである。この井川村は急峻な山々に囲まれ交通極めて不便で古来「陸の離れ島」と呼ばれていた程であるが、最近になつて村を貫流する大井川の総合開発のダム工事進行に伴つて漸く世人の話題に載るようになっただけに興味ある植物に富んでいる。

キバナノショウキランは昭和6年中井博士により伊豆天城山で発見されて以来、わずかに数ヶ所で採集されただけであるが、井川本村のダム工事現場から程遠からぬ広葉樹林内にも産する。採集品を工事人夫に示して、見たことが有るか尋ねたところ何処其処の沢筋で見たとか、どの辺の林でも見た事があるとか二三の人夫が知っていた。人夫の言うことだから感違ひもあらうが兎に角附近を探せばまだ発見されるだらう。1955年7月中旬採集した時は既に満開を過ぎていたことから考えて此の辺では上旬が開花期と思う。(静岡大学農学部 斉藤全生)

○ トラキチラン *Epipogium aphyllum* Swartz これも井川村に産することが判つた。分布の広い割に稀品に属する植物のようである。二軒小屋で大井川の本流に合する西俣川をさかのぼつて、更に悪沢をつめて登つた海拔2,000m辺のミズナラ、コメツガ、シラベの混交林内に産する。林内の腐植土の堆積したやや乾燥気味の処にあつた。花期は8月中旬。1957年採集。(静岡大学農学部 斉藤全生)

○ ミヤマツチトリモチ *Balanophora nipponica* Makino 井川本村から静岡市に通ずる大日峠、三ッ峯一帯のモミ、ヒメシャラ、ミズナラ等の林内に多産する。1955年8月中旬三ッ峯で見付けた時は落葉の間から一面に特異な頭を出した開花の時期であつたが10月上旬再び種子を採集すべく同処に行つて見たところ全然姿を見せず、腐つてしまつていた。前回発見の時発生箇所を立てて置いた目じるしの竹杭をたよりに土を掘つて宿主を探した程である。三ッ峯でも玉川村(次記)でもウリハダカエデ、ヤマモミジ等の *Acer* 属の根に附着していた。

尚本種は井川村以外に静岡県内では安倍郡玉川村(1956年採集)、榛原郡上川根村(1956年採集)、磐田郡水窪町(1956年黒沢美房氏採集)にも産する。(静岡大学農学部 斉藤全生)